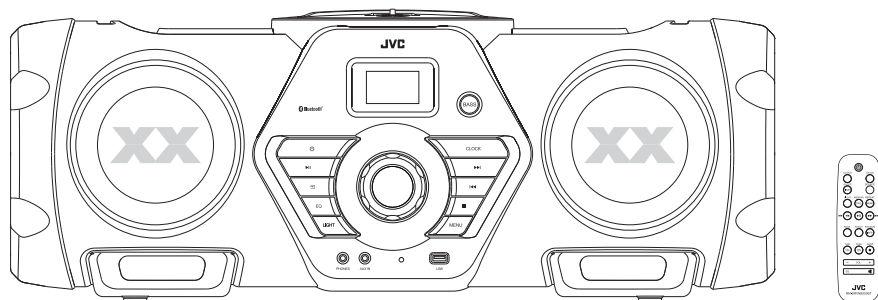


### パワードウーハー CD システム

# RV-NB250BT



COMPACT  
disc  
DIGITAL AUDIO

MP3

Bluetooth®

・ もくじは4 ページにあります。

**お買い上げありがとうございます**

**⚠ ご使用の前に**

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

**特に別紙の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。**

そのあと本書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。



**ユーザー登録  
のすすめ**

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。

ご登録いただきますと製品のサポート情報、製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。下記ウェブサイト、または添付されている場合はハガキのどちらからでもご登録いただけます。

● 下記アドレスのホームページより、ご登録ください。

<https://www32.jvckenwood.com/jvc/system/cons/index.asp>

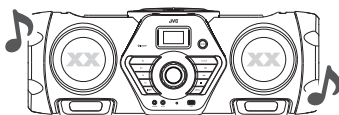


# はじめに

## 本機を楽しむには

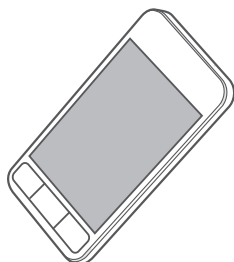
### 音声を楽しむために準備しましょう

AC 電源コードを接続しましょう (p. 11)

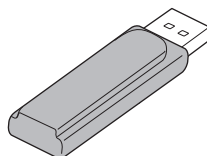


### いろいろなソース(音源)を聴きましょう

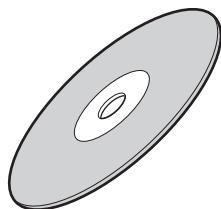
BLUETOOTH 機器 (p. 16)



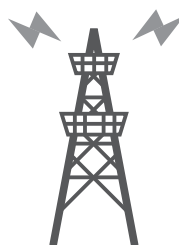
USB メモリー (p. 19)



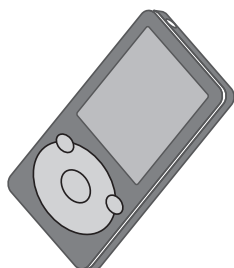
CD (p. 19)



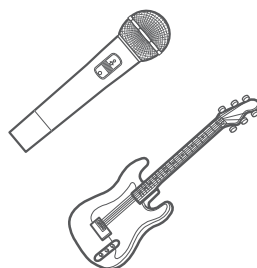
ラジオ (p. 24)



外部機器 (p. 27)



マイク/ギター (p. 28)



### 本書のボタン表記について

- 本書では、特に表記のないボタンはリモコンのボタンを示しています。本体のボタンに同じマークがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。
- この取扱説明書のディスプレイ表示は実際のディスプレイ表示とは異なる場合があります。

### 本書のその他の表記について

- 本書の説明で「iPod」と表記しているときは、iPod、iPod touch、iPhone を含みます。iPod touch、iPhone を指すときは、「iPod touch」、「iPhone」と表記します。
- 本書の説明で「Android 端末」と表記しているときは、Android OS を搭載したスマートフォンやタブレット端末などを含みます。
- 本書では、MP3 の説明をする場合、「ファイル」と「トラック」と「曲」は同じ意味で使っています。

### 本機のボタン操作についてのご注意

本機のボタンの押し方には、2通りあります。

#### ボタンを短めに押す:

ボタンを軽く短めに「ポン」と押して、早めに指を離してください。強く押し過ぎたり、ゆっくり押すと本機が反応しない場合があります。そのような場合は、押す時間や力を調整して数回試してみてください。



#### ボタンを長めに押す:

ボタンを長めに押し続け、目的の動作が実行された後に、指を離してください。



この製品の機種銘板は本体の背面にあります。

### レーザー製品についてのご注意

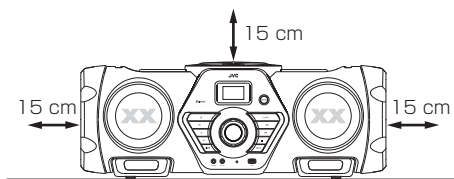
1. この製品は JIS C6802 規格に基づくクラス 1 レーザー製品です。
2. 注意: 機器内部には、危険なレーザー放射部があります。分解、改造はしないでください。

### 本機を設置するときは

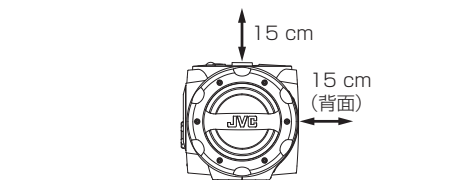
本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- おお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロス、新聞、カーテン、毛布などで通風孔をふさがない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 機器の各面から、図に示すスペースを空けてください。

#### 正面



#### 側面



#### ご注意

- 本機の使用環境温度は、5°C～35°Cです。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

# もくじ

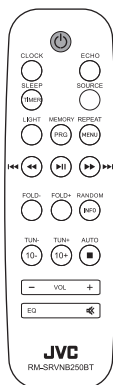
はじめに .....	2	ラジオを聴く .....	24
本機を楽しむには .....	2	放送局を受信する .....	24
本機を設置するときは .....	3	受信状態を改善する .....	24
準備する .....	5	放送局を記憶させる(プリセット) .....	26
付属品を確認する .....	5	外部機器を聴く .....	27
本機を持ち運ぶ .....	6	外部機器を接続する .....	27
各部の名称 .....	7	外部機器を聴く .....	27
リモコン .....	7	マイク／ギターを接続する .....	28
本体前面 .....	8	マイク／ギターの音をミキシングする .....	28
本体上面 .....	9	マイクの音声にエコーをかける .....	28
本体背面 .....	10	その他の機能 .....	29
接続する .....	11	サウンドモードを使う .....	29
電源コードを接続する .....	11	重低音を強める .....	29
ヘッドホンを接続する .....	11	スリープタイマーを設定する .....	29
基本操作 .....	12	タイマーを設定する .....	30
電源を入れる／切る .....	12	ライトエフェクトを使う .....	31
エコモードを使う .....	12	出荷時の状態に戻す .....	31
エコモードを解除する .....	12	その他の情報 .....	32
時計を合わせる .....	12	オートパワーセーブ(節電機能)について .....	32
いろいろなソース(音源)を聴く .....	13	使用できる BLUETOOTH 機器 .....	32
表示部の明るさを設定する .....	14	USB メモリーのご注意 .....	32
表示される情報を変える .....	15	再生できる CD とファイル .....	32
BLUETOOTH 機器を聴く .....	16	CD-R / CD-RW のご注意 .....	32
BLUETOOTH 機器を接続する .....	16	MP3 ファイルのご注意 .....	33
BLUETOOTH 機器の基本操作 .....	17	ファイルの再生順について .....	33
接続を解除する .....	17	本機を処分する際のご願い .....	34
電波について .....	18	ソフトウェアバージョンについて .....	35
USB メモリー／CD を聴く .....	19	お手入れについて .....	35
USB メモリー／CD を準備する .....	19	商標 .....	35
USB メモリー／CD の基本操作 .....	20	故障かな?と思ったら .....	36
プログラム再生をする .....	21	主な仕様 .....	38
リピート再生をする .....	22	保証とアフターサービス .....	43
ランダム再生をする .....	23		

# 準備する

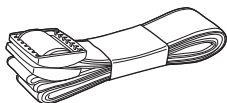
## 付属品を確認する

お使いになる前にお確かめください。

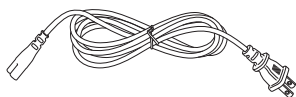
リモコン (1個)      リモコン用単4形乾電池 (1本)  
RM-SRVNB250BT



ショルダーベルト (1本)



AC電源コード (1本)

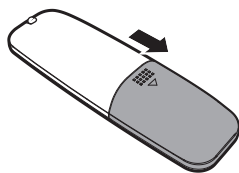


## リモコンを準備する

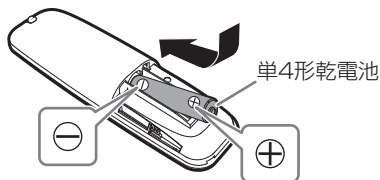
### 電池を入れる

電池の ⊕ と ⊖ の向きを正しく入れてください。

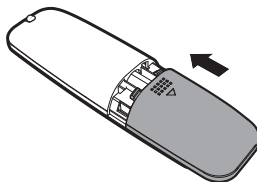
#### 1 リモコン背面のカバーを開ける



#### 2 電池を入れる



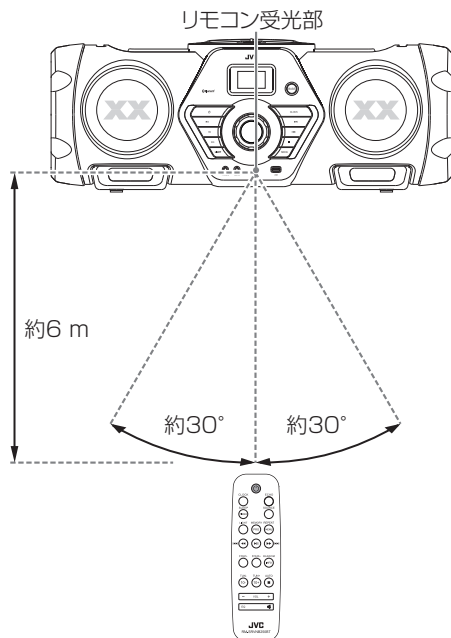
#### 3 カバーを閉める



### ご注意

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 乾電池は、「安全上のご注意」(別紙)をお読みの上、正しくお取り扱いください。
- 使用済みの電池は、絶縁テープなどを貼って絶縁し、所在自治体の指示にしたがって廃棄してください。
- 落としたりぶつけたりなど、リモコンに強い衝撃を与えないでください。

### 操作のしかた



- リモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。
- リモコンと本体の距離が近すぎると操作できません。
- 本体のリモコン受光部に、直射日光などの強い光が当たると、正しく動作しないことがあります。誤動作を避けるために、設置場所を変えてください。

## 本機を持ち運ぶ

### お知らせ

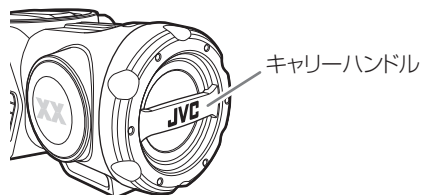
- ・持ち運ぶときは、CDを取り出し、USB機器を取りはずしてください。
- ・持ち運ぶときは、すべての接続コードを取りはずしてください。
- ・本機は防水・防塵仕様ではありません。

### キャリーハンドルを使う

本体の左右にあるキャリーハンドルを使って、持ち運ぶことができます。

### ご注意

- ・持ち運ぶときは、必ず左右両方のキャリーハンドルを持ってください。一方のキャリーハンドルのみを持って運ぶと、もう一端を引きずるなどして、本機の破損の原因となります。



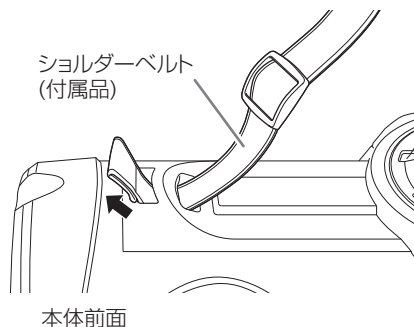
### ショルダーベルトを使う

付属のショルダーベルトを本体に取り付けて、持ち運ぶことができます。

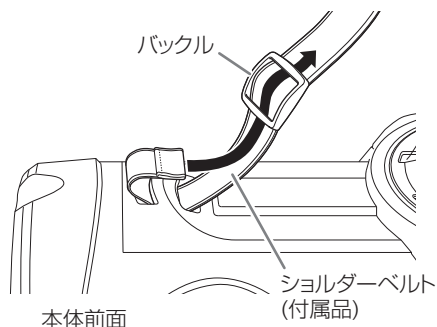
### ご注意

- ・持ち運ぶときは、ショルダーベルトが本体上部のホールに正しく取り付けられていることを確認してください。ショルダーベルトがはずれると、落下するなどして、本機の破損の原因となります。

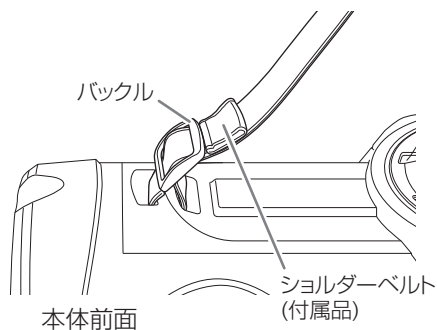
### 1 ショルダーベルトを本体上部のホールに通す



### 2 ショルダーベルトをバックルに通す



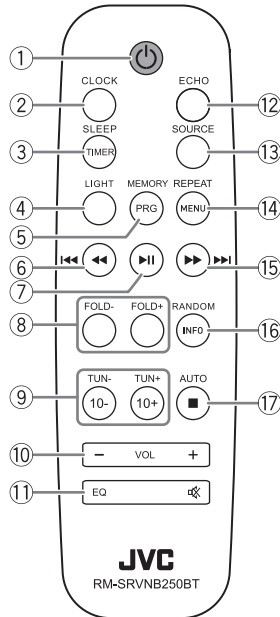
### 3 ショルダーベルトの端の折り返し部分でバックルに固定する



### 4 手順1~3をくり返して、ショルダーベルトのもう一方の端を本体の反対側のホールに取り付ける

# 各部の名称

## リモコン



### ① (電源) ボタン

電源のオン/オフ(スタンバイ)を切り換えます。

### ② CLOCK ボタン

時計を設定します。

### ③ SLEEP (TIMER) ボタン

スリープタイマーやタイマーを設定します。

### ④ LIGHT ボタン

ライトエフェクトのオン/オフを切り換えます。

### ⑤ MEMORY (PRG) ボタン

USB メモリーまたは CD のプログラム再生をします。また、ラジオの放送局を手動で記憶させます(マニュアルプリセット)。

### ⑥ ◀◀(◀) ボタン

設定項目や曲などを選びます。押し続けると曲を早戻しします。

### ⑦ ▶▶ ボタン

BLUETOOTH 機器、USB メモリー、CD の再生 / 一時停止をします。

### ⑧ FOLD - / FOLD + ボタン

USB メモリーまたは CD のフォルダーを選びます。

### ⑨ TUN - (10-) / TUN + (10+) ボタン

USB メモリーまたは CD の曲を 10 曲スキップします。また、ラジオの放送局を選びます。

### ⑩ VOL (- / +) ボタン

音量を調節します。- 側を押すと音量が下がり、+ 側を押すと音量が上がります。

### ⑪ EQ / ㊦ ボタン

EQ 側を押すと、サウンドモードを選べます。㊦ 側を押すと、音量を一時的に消音します。

### ⑫ ECHO ボタン

マイクの音声にエコーをかけます。

### ⑬ SOURCE ボタン

ソース(音源)を切り換えます。

### ⑭ REPEAT (MENU) ボタン

USB メモリーまたは CD のリピート再生をします。また、表示部の明るさ調節など、各種設定メニューを表示します。

### ⑮ ▶▶(▶▶) ボタン

設定項目や曲などを選びます。押し続けると曲を早送りします。

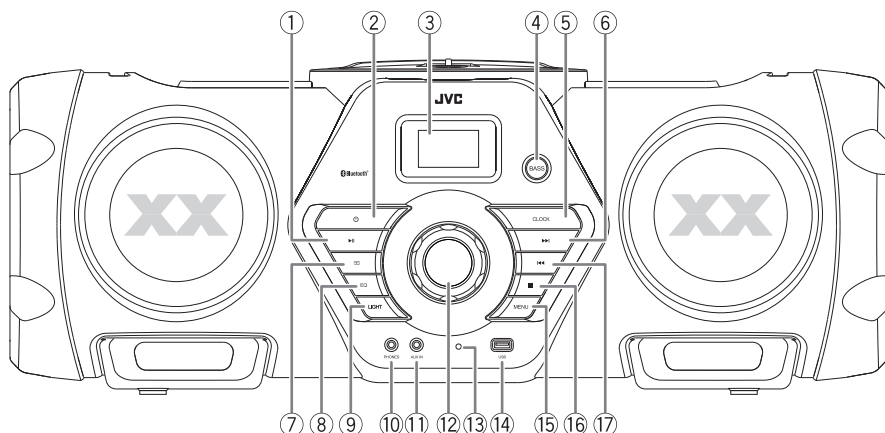
### ⑯ RANDOM (INFO) ボタン

USB メモリーまたは CD のランダム再生をします。また、表示部の表示情報を切り換えます。

### ⑰ AUTO (■) ボタン

ソース(音源)の再生を停止します。また、ラジオの放送局を自動で記憶させます(オートプリセット)。

## 本体前面



- ① **▶|| ボタン**  
BLUETOOTH 機器、USB メモリー、CD の再生 / 一時停止をします。
- ② **⏻(電源) ボタン**  
電源のオン / オフ(スタンバイ) / エコモードを切り換えます。
- ③ **表示部**  
本機の状態が表示されます。
- ④ **BASS ボタン**  
重低音を強めます。
- ⑤ **CLOCK ボタン**  
時計を設定します。
- ⑥ **▶▶ ボタン**  
1 つ後の曲を選びます。押し続けると曲を早送りします。
- ⑦ **ソース(音源) 切換ボタン**  
ソース(音源)を切り換えます。
- ⑧ **EQ ボタン**  
サウンドモードを選びます。
- ⑨ **LIGHT ボタン**  
ライトエフェクトのオン / オフを切り換えます。
- ⑩ **PHONES 端子(ヘッドホン端子)**  
ヘッドホンを接続します。  
ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。
- ⑪ **AUX IN 端子**  
音声ケーブル(市販品)を使用して、アナログ音声出力端子がある外部機器を接続します。



⑫ 音量つまみ

音量を調節します。右に回すと音量が上がり、左に回すと音量が下がります。

⑬ リモコン受光部

リモコンの信号を受信します。

⑭ USB 端子

USB メモリーを接続します。

⑮ MENU ボタン

表示部の明るさ調節など、各種設定メニューを表示します。

⑯ ■ ボタン

BLUETOOTH 機器、USB メモリー、CD の再生を停止します。

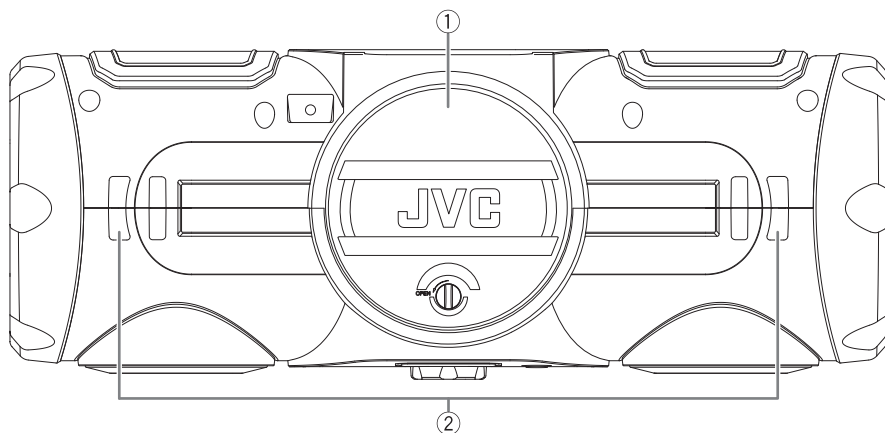
⑰ ◀◀ ボタン

1 つ前の曲を選びます。押し続けると曲を早戻しします。

**お知らせ**

・電源が切れているとき(スタンバイ状態)でも、少量の電力を消費します。

**本体上面**



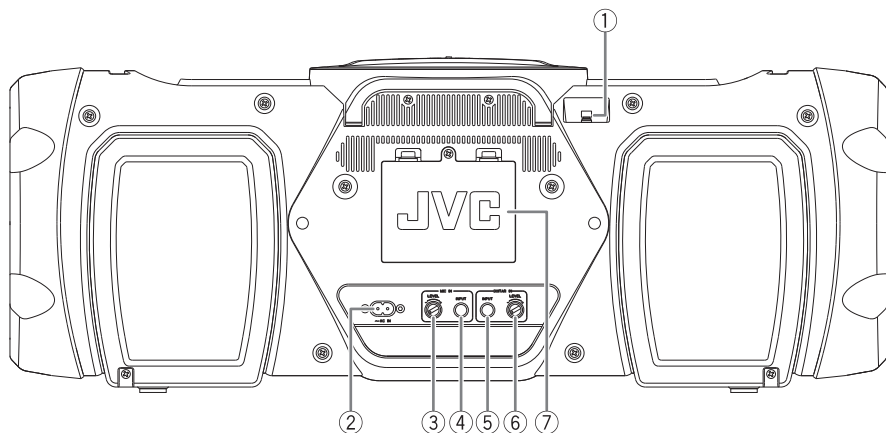
① CD ドア

CD を入れます。

② ショルダーベルト用ホール

付属のショルダーベルトを取り付けます。

## 本体背面

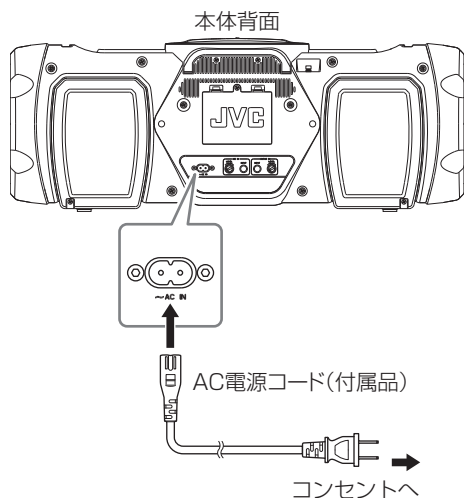


- ① FM ロッドアンテナ  
FM 放送を受信します。
- ② ~ AC IN 端子  
付属の AC 電源コードで交流 100V、50 / 60Hz の電源コンセントに接続します。
- ③ MIC IN LEVEL (- / +) 調節つまみ  
マイクの音量を調節します。
- ④ MIC IN INPUT 端子  
モノラル標準プラグコード(市販品)を使用して、マイクを接続します。
- ⑤ GUITAR IN INPUT 端子  
モノラル標準プラグコード(市販品)を使用して、ギターを接続します。
- ⑥ GUITAR IN LEVEL (- / +) 調節つまみ  
ギターの音量を調節します。
- ⑦ 充電電池カバー  
充電式電池が内蔵されています。

# 接続する

## 電源コードを接続する

付属の AC 電源コードを本機の～ AC IN 端子に接続してから、AC 電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。



- 本機に内蔵されている充電式電池が満充電ではないときは、充電を開始します。
- 本機の充電時間は、約 5 時間です。

### お知らせ

- 表示部左上の電池アイコンの残量目盛りは 5 つあります。残量目盛りが 1 つになり、「Battery Low」と表示されたときは、AC 電源コードを接続して、充電してください。
- 充電中に充電式電池内の温度が 0℃以下または 45℃以上になると、充電が停止します。充電が停止すると、表示部の電池アイコンが充電表示から残量表示に変わります。充電式電池内の温度が 5℃以上または 42℃以下に戻ると、自動的に充電が再開されます。
- AC 電源コードのプラグをコンセントの奥まで確実に差し込んでください。
- 出かけるときや長期間使用しないときは、AC 電源コードをコンセントから抜いてください。

## ヘッドホンを接続する

ヘッドホンを着装する前や、ヘッドホンのプラグを抜き差しする前に、音量を最小にしておいてください。

### お知らせ

- ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。
- 市販の 3.5mm ステレオミニプラグ(3 極タイプ)のヘッドホンをお使いください。



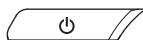
# 基本操作

## 電源を入れる／切る


リモコン



本体



### お知らせ

- お買い上げ時は、エコモードに設定されています。初めてお使いになるときは、本体の  (電源) ボタンを 5 秒以上押し、本機の電源を入れてください。
- 電源を切ると、10 秒後に表示部が消灯します。

## エコモードを使う

本機を長期間使用しないときは、エコモードを使うと、充電式電池の消費を抑えることができます。

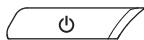
### 本機の電源が切れているとき(スタンバイ中)に

リモコン



(押し続ける)

本体



(押し続ける)

表示部に「GOODBYE」と表示され、エコモードになります。

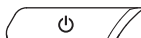
### お知らせ

- エコモード中は、表示部が消灯します。
- エコモードにすると、時計がリセットされます。

## エコモードを解除する

### エコモード中に

本体



(押し続ける)

本機の電源が入ります。

### お知らせ

- エコモードの解除後は、時計がリセットされています。再度時計を合わせてください。(p. 12)

## 時計を合わせる

タイマーなどを利用するために本機の時計を設定します。

### 本機の電源が切れているとき(スタンバイ中)に

#### 1 時計設定表示にする

リモコン

CLOCK



本体



- 「Set time」と表示され、時計の時刻設定を開始します。

#### 2 時計の時間表示を選ぶ

リモコン

本体



(くり返し押す) (くり返し押す)  
押すたびに表示が切り換わります。

24 Hour : 24 時間表示

12 Hour : 12 時間表示

#### 3 時計設定を開始する

リモコン

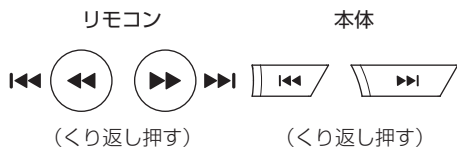
CLOCK



本体



## 4 時計の「時」を合わせる



## 5 決定する



## 6 手順 4~5 をくり返して、時計の「分」を合わせる

- ・「Set date」と表示され、時計の日付設定を開始します。

## 7 手順 4~5 をくり返して、時計の「日」を合わせる

## 8 手順 4~5 をくり返して、時計の「月」を合わせる

## 9 手順 4~5 をくり返して、時計の「年」を合わせる

- ・「Time Saved」と表示され、時計の設定が保存されます。

### お知らせ

- ・ 時計設定は 30 秒で解除されます。解除された場合は、手順 1 からやり直してください。
- ・ 本機の時計は月に 2、3 分程度のズレが生じる場合があります。定期的に時計を合わせ直すことをおすすめします。
- ・ 本機に内蔵されている充電式電池の残量が十分ではない状態で、電源を抜いたり、停電で電源が切れたりした場合は、時計を合わせ直してください。
- ・ リモコンの REPEAT (MENU) ボタンを押し続けるか、本体の MENU ボタンを押して、「System」→「Time」→「Set Time/Date」メニューから、時計を設定することもできます。
- ・ エコモードにすると、時計がリセットされます。

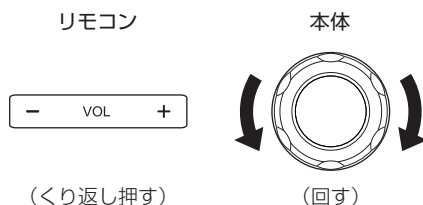
## いろいろなソース(音源)を聴く

### 1 ソース(音源)を選ぶ



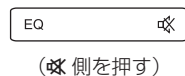
- ・ 押すたびにソース(音源)が次のように切り換わります。  
Bluetooth → AUX IN → CD → USB → FM → (最初に戻る)

### 2 音量を調節する



- ・ 調節範囲: MIN から MAX まで 32 ステップあります。
- ・ 音量値は表示部にバーで表示されます。
- ・ リモコンの VOL (-/+ ) ボタンを押し続けると、連続して変わります。

### 一時的に消音する



「MUTING」と表示され、一時的に消音します。

### お知らせ

- ・ もう一度押すか、音量を調節すると、消音が解除されます。
- ・ ソース(音源)を切り換えると、消音が解除されます。

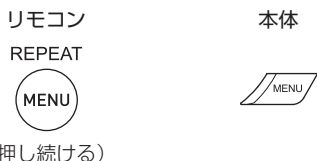
## 表示部の明るさを設定する

明るさ、ディマー、タイムアウトの設定は、電源がオンのときのみ有効です。

電源を切ると、10秒後に表示部は消灯します。

### 電源を入れたときの明るさを設定する

#### 1 設定メニューを表示する



#### 2 「System」を選ぶ

リモコン



(くり返し押す)

本体



(くり返し押す)

#### 3 手順2をくり返して、「Backlight」を選ぶ

#### 4 手順2をくり返して、「On level」を選ぶ

#### 5 手順2をくり返して、表示部の明るさを選ぶ



#### 6 設定メニューを終了する



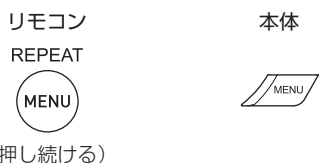
- ・リモコンまたは本体の MENU ボタンをくり返し押すことでも、設定メニューは終了できます。

### お知らせ

- ・設定は電源を切っても記憶されます。
- ・現在設定中の項目は、表示部の右端中段に「\*」マークが表示されます。

## ディマーを設定する

#### 1 設定メニューを表示する



#### 2 「System」を選ぶ

リモコン



(くり返し押す)

本体



(くり返し押す)

#### 3 手順2をくり返して、「Backlight」を選ぶ

#### 4 手順2をくり返して、「Dim Level」を選ぶ

#### 5 手順2をくり返して、表示部の明るさを選ぶ



#### 6 設定メニューを終了する



- ・リモコンまたは本体の MENU ボタンをくり返し押すことでも、設定メニューは終了できます。

### お知らせ

- ・設定は電源を切っても記憶されます。
- ・現在設定中の項目は、表示部の右端中段に「\*」マークが表示されます。

## タイムアウトを設定する

ディマーで設定した明るさになるまでの時間を設定します。

### 1 設定メニューを表示する

リモコン

REPEAT



(押し続ける)

本体



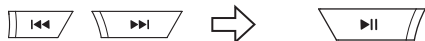
### 2 「System」を選ぶ

リモコン



(くり返し押す)

本体

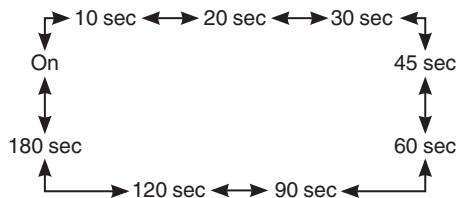


(くり返し押す)

### 3 手順 2 をくり返して、「Backlight」を選ぶ

### 4 手順 2 をくり返して、「Timeout」を選ぶ

### 5 手順 2 をくり返して、ディマーで設定した明るさになるまでの時間(単位:秒)を選ぶ



- ・「On」を選ぶと、電源を入れたときの明るさのままとなります。

## 6 設定メニューを終了する

リモコン

REPEAT



(押し続ける)

本体



(押し続ける)

- ・リモコンまたは本体の MENU ボタンをくり返し押すことでも、設定メニューは終了できます。

### お知らせ

- ・設定は電源を切っても記憶されます。
- ・現在設定中の項目は、表示部の右端中段に「\*」マークが表示されます。

## 表示される情報を変える

RANDOM



(押し続ける)

押し続けると、日付が表示されます。再度押し続けると、表示が元に戻ります。

ソース(音源)が「USB」または「CD」のときは、日付が表示された数秒後に、表示が元に戻ります。

# BLUETOOTH 機器を聴く

お手持ちのスマートフォンやポータブルプレーヤーなどの BLUETOOTH 機器の音を本機で聴くことができます。

初めて接続するときは、BLUETOOTH 機器と本機をペアリング(登録)してください。

## BLUETOOTH 機器を接続する

本機と BLUETOOTH 機器(以下、相手機器)を初めて接続するときは、以下の方法でペアリングしてください。

### 1 ソース(音源)を「Bluetooth」にする

リモコン

本体

SOURCE



(くり返し押す)



(くり返し押す)

### 2 相手機器の電源を入れ、ペアリングができる状態にする

相手機器によって、画面に表示されるメニュー項目は異なります。

詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

#### Android 機器(スマートフォンなど)の操作例

- ① 「設定」→「無線とネットワーク」の順にタップする
- ② 「Bluetooth」にチェックマークがついていない場合は、「Bluetooth」をタップし、チェックマークをつけて、「オン」にする
- ③ 「Bluetooth 設定」→「端末のスキャン」(もしくは同じ意味の項目)の順にタップする

#### iOS 機器(iPhone/iPad/iPod touch)の操作例

以下のいずれかの手順を参考にしてください。

「設定」→「Bluetooth」の順にタップする

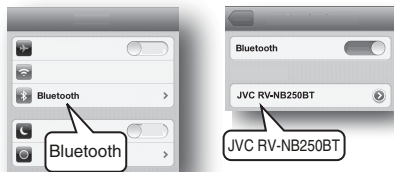
または、

「設定」→「一般」→「Bluetooth」の順にタップする

上記のいずれの場合も、「Bluetooth」がオフになっている場合は、「オン」にする

### 3 相手機器で「JVC RV-NB250BT」を選ぶ

iOS 機器 (iPhone/iPad/iPod touch) の画面例



ペアリングが完了し、相手機器と本機が自動的に接続されます。

- ペアリング中にパスキー(暗証番号)の入力を求められた場合は、「0000」を入力してください。

### 4 相手機器を再生する

あらかじめ、相手機器の音楽再生アプリを立ち上げておいてください。

リモコン

本体



- 自動的に再生が始まる場合もあります。
- 再生が始まらない場合は、相手機器側で再生してください。

### お知らせ

- ソース(音源)を「Bluetooth」に切り換えると、本機と最後に接続した相手機器と再接続します。
- 接続できないときや、本機から音が出ないときは、相手機器で本機のペアリング情報を削除してから、やり直してください。
- 相手機器によっては、本機と接続できない場合があります。



## BLUETOOTH 機器の基本操作

### 再生する

リモコン



本体



### 一時停止する

リモコン



本体



もう一度押すと、一時停止を解除し、再生します。

### 曲を選ぶ

リモコン



(くり返し押す)

本体



(くり返し押す)

## 接続を解除する

相手機器の BLUETOOTH 接続をオフにします。

### お知らせ

以下の場合も、自動的に接続が解除されます。

- 本機または相手機器の電源を切ったとき
- 他のソース(音源)に切り換えたとき

### ご注意

- 電波状況によって音声途切れたり、詰まって聞こえたりする場合があります。本機または接続機器の設置位置を変更してください。
- BLUETOOTH で接続できる距離は、最大 10m です。お使用の環境によっては、これよりも短くなります。
- iPhone やスマートフォンを BLUETOOTH 接続した状態では、電話やメールなどの着信音も本機のスピーカーから流れる場合があります。
- 本機にはマイク機能は搭載されておりません。通話する場合には、本機との接続を解除するか、iPhone/スマートフォンのマイクをお使いください。
- BLUETOOTH 機器によっては、本機と接続できない場合があります。
- BLUETOOTH 機器によっては、操作(再生、一時停止、選曲)ができない場合があります。
- 相手機器のイコライザ機能がオンになっていると、音声がかぶむ場合がありますので、オフにしてください。

## 電波について

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けた部品を使用しています。(または、受けた部品を使用しています)。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

- 分解/改造すること
- 本機の証明表示(☑)を改変すること

- 本機は 2.4GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

### 使用上のご注意

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- 製品に表示している周波数表示の意味は以下の通りです。

### 2.4 FH 1

2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線機器です。

FH : FH-SS 変調方式を表します。

1 : 電波干渉距離は 10 m です。

■ ■ ■ : 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

- 使用可能距離は見通し距離約 10m です。鉄筋コンクリートや金属の壁などをはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。

- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。

- 2.4GHz の周波数帯域を利用する無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。

- ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナー、VICS などのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。

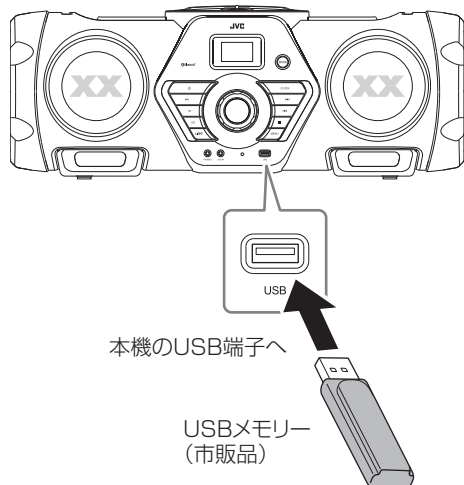
- 本機は電波を使用しているため、第 3 者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

# USB メモリー / CD を聴く

## USB メモリー / CD を準備する

### USB メモリーを聴くとき

#### USB メモリーを接続する



接続すると、USB メモリー内にあるフォルダー数の合計、ファイル数の合計および USB メモリー名が表示されます。

再生中はフォルダー No、ファイル No、経過時間が表示されます。

#### ご注意

- USB メモリーは、電源が切れた状態で取りはずしてください。再生中に取りはずすと、ファイルやファイルシステムが壊れて、USB メモリー内の音楽が再生できなくなる場合があります。
- iPod、iPhone、Android 端末、ソニー製ウォークマンは、USB 接続できません。BLUETOOTH 接続(p. 16)してください。

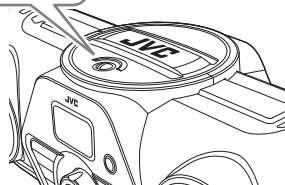
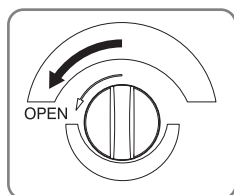
#### お知らせ

- 各ソース(音源)で USB メモリーを接続、または CD を入れると、認識後自動的に再生を始めます。

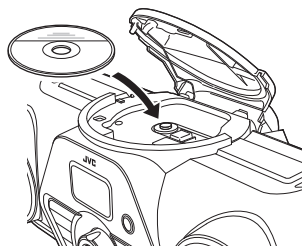
## CD を聴くとき

### 1 CD ドアを開ける

- CD ドアをつまみを左側(OOPEN 側)に回してください。

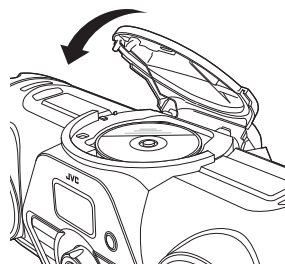


### 2 CD を入れる



- 「カチッ」と音がするまで CD を押し付けて装着してください。

### 3 CD ドアを閉める



- CD 認識中は「CD-READING」と表示されます。

## USB メモリー / CD の基本操作

### 再生する

#### 1 ソース(音源)を「USB」または「CD」にする

リモコン

SOURCE



(くり返し押す)

本体



(くり返し押す)

#### 2 再生する

リモコン



本体



### 一時停止する

リモコン



本体



もう一度押すと、一時停止を解除し、再生します。

### 停止する

リモコン

AUTO



(押し続ける)

本体



### 曲を選ぶ

リモコン



(くり返し押す)

本体



(くり返し押す)

### 曲を 10 曲スキップする

TUN- TUN+



(押し続ける)

### 早戻し / 早送りする

#### 再生中に

リモコン



(押し続ける)

本体



(押し続ける)

#### お知らせ

- 早戻し/早送りの動作中は音が出ません。

### フォルダー番号とファイル番号から曲を選ぶ (MP3 ファイルのみ)

#### 1 フォルダー番号とファイル番号を選ぶ



(くり返し押す)



(くり返し押す)

- FOLD- / FOLD+ ボタンでフォルダー番号を選んでから、I<<<(◀◀) / ▶▶(▶▶) ボタンでファイル番号を選びます。

#### 2 再生する

リモコン



本体



## プログラム再生をする

音楽 CD の場合は 20 曲まで、MP3 ファイルの場合は 99 曲まで、お好みの順で再生します。

### お知らせ

- プログラム再生に登録できる曲数を超えると、「FULL」が点滅します。

#### 1 プログラムモードを表示させる 停止中に

MEMORY



(押し続ける)

#### 2 曲を選ぶ

##### 音楽 CD の場合

リモコン

本体

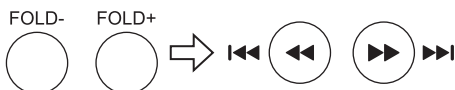


(くり返し押す)

(くり返し押す)

##### MP3 ファイルの場合

フォルダー番号とファイル番号を選ぶ



(くり返し押す)

(くり返し押す)

- FOLD- / FOLD+ ボタンでフォルダー番号を選んでから、I<<<(◀◀) / ▶▶(▶▶) ボタンでファイル番号を選びます。

#### 3 曲を登録する

MEMORY



(押し続ける)

#### 4 手順 2~3 をくり返して、他の曲を登録する

#### 5 再生する

リモコン

本体



- プログラムした順序で曲が再生されます。

## プログラム内容を確認する

### プログラム再生停止中に

リモコン

本体



(くり返し押す)

(くり返し押す)

登録した曲が順に表示されます。

## プログラム再生を解除し内容を消去する

### プログラム再生停止中に

リモコン

AUTO



本体



すべてのプログラムの内容が消去されます。

- 以下の場合もプログラム内容が消去され、プログラム再生が解除されます。

- 電源を切る
- ソース(音源)を変える
- ソース(音源)が「CD」のときに、CD を取り出す
- ソース(音源)が「USB」のときに、USB メモリーを取りはずす

## リピート再生をする

### 再生中に

REPEAT



(くり返し押し)

- REP ONE：現在の曲をくり返します。
- REP DIR\*：現在のフォルダーの曲をくり返します。
- REP ALL：USB メモリーまたは CD のすべての曲をくり返します。
- REP OFF：リピート再生を解除します。

\* MP3 のみ

### お知らせ

- プログラム再生中に「REP ALL」にすると、プログラムをリピート再生します。

## リピート再生を解除する

### 再生中に

「REP OFF」を選ぶ

REPEAT



(くり返し押し)

- 以下の場合もリピート再生は解除されます。
  - 電源を切る
  - ソース(音源)を変える
  - ソース(音源)が「CD」のときに、CD を取り出す
  - ソース(音源)が「USB」のときに、USB メモリーを取りはずす
  - 停止する

## ランダム再生をする

### 再生中または停止中に

「RANDOM」を選ぶ



### お知らせ

- フォルダー内ランダムではなく、全曲ランダムになります。

## ランダム再生を解除する

### ランダム再生中または停止中に

「RDM OFF」を選ぶ



- 以下の場合もランダム再生は解除されます。
  - 電源を切る
  - ソース(音源)を変える
  - ソース(音源)が「CD」のときに、CDを取り出す
  - ソース(音源)が「USB」のときに、USBメモリーを取りはずす
  - 停止する

# ラジオを聴く

FM 放送を聴く前に、必ず FM ロッドアンテナを伸ばしてください。

## お知らせ

- 本機は、FM ラジオで AM ラジオの一部が聴ける「ワイド FM」に対応しています。
- AM ラジオは聴けません。

## 放送局を受信する

受信方法は、オートとマニュアルの 2 種類があります。

### 1 ソース(音源)を「FM」にする

リモコン

SOURCE



(くり返し押す)

本体



(くり返し押す)

### 2 放送局を選ぶ

#### オートで選ぶ場合

TUN-

TUN+



(約 2 秒間押し続ける)

- 押し続けると自動的に選局を始め、放送を受信すると停止します。
- 選局を途中で停止したいときは、もう一度押します。

#### マニュアルで選ぶ場合

TUN-

TUN+



(くり返し押す)

- くり返し押すと、0.1 MHz ずつ受信周波数が変わります。
- FM ステレオ放送を受信すると、「Stereo」と表示されます。
- FM モノラル放送を受信すると、「Mono」と表示されます。

## お知らせ

- ワイド FM とは、AM の電波が受信しづらい、鉄骨の建物内・ビルや山に囲まれた地域、外国からの混信などの難聴および災害対策のため、AM 放送の番組を FM 放送の拡張帯域 (90~95MHz) で再送信する放送サービスです。
- ワイド FM ですべての AM 放送が受信できるものではありませんが、お住まいの地域によって受信可能な放送局・周波数が異なりますので、新聞の番組表や、お聴きになりたい放送局のホームページなどでご確認ください。

## 受信状態を改善する

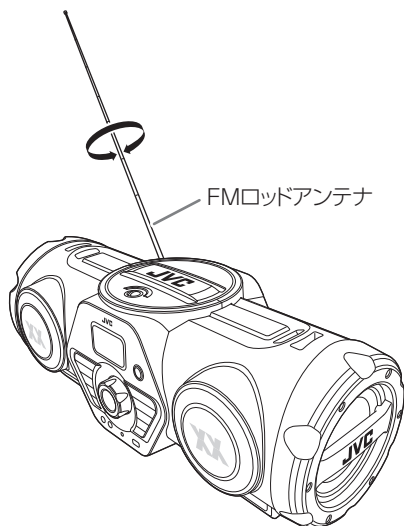
受信状態が良くないときは、放送を聴いて確認しながら、アンテナを調整してください。

## ご注意

- 集合住宅など鉄骨構造の住宅では、電波が遮られるため、受信状態が悪くなります。放送を良好に受信できない場合は、本機を窓際に近づけてください。
- FM 放送の受信の妨げになる場合があるため、本機は電気製品や、他のケーブルからできるだけ離して設置してください。

## FM ロッドアンテナを調整する

最もよく受信できるように、FM ロッドアンテナの角度および方向を調整してください。





## モノラル受信に切り換える

FM ステレオ放送が聴きにくいときは、モノラル受信にすると聴きやすくなります。

### ソース(音源)が「FM」のときに

#### 1 設定メニューを表示する

リモコン

REPEAT



(押し続ける)

本体



#### 2 「Audio setting」を選ぶ

リモコン



(くり返し押す)

本体



(くり返し押す)



#### 3 手順 2 をくり返して、「Forced mono」を選ぶ

#### 4 設定メニューを終了する

リモコン

REPEAT



(押し続ける)

本体



(押し続ける)

- ・リモコンまたは本体の MENU ボタンをくり返し押すことでも、設定メニューは終了できます。
- ・表示部の左下に「Mono」と表示され、モノラル受信になります。

### お知らせ

- ・ステレオ受信に戻すには、手順 3 で「Stereo allowed」を選んでください。
- ・モノラル受信では、受信状態は改善されますが、ステレオ効果は失われます。
- ・設定は電源を切っても記憶されます。
- ・現在設定中の項目は、表示部の右端中段に「\*」マークが表示されます。

## 放送局の自動検索方法を切り換える

オートで放送局を選ぶ(p. 24)ときの検索方法を設定します。通常はすべての放送局を自動検索するように設定されていますが、受信状況が良くないときは、電波状況の良い放送局のみを自動検索するように切り換える機能です。

### ソース(音源)が「FM」のときに

#### 1 設定メニューを表示する

リモコン

REPEAT



(押し続ける)

本体



#### 2 「Scan setting」を選ぶ

リモコン



(くり返し押す)

本体



(くり返し押す)



#### 3 手順 2 をくり返して、「Strong stations only」を選ぶ

#### 4 設定メニューを終了する

リモコン

REPEAT



(押し続ける)

本体



(押し続ける)

- ・リモコンまたは本体の MENU ボタンをくり返し押すことでも、設定メニューは終了できます。
- ・電波状況の良い放送局のみを自動検索するように設定されます。

### お知らせ

- ・すべての放送局を自動検索するに戻すには、手順 3 で「All stations」を選んでください。
- ・設定は電源を切っても記憶されます。
- ・現在設定中の項目は、表示部の右端中段に「\*」マークが表示されます。

## 放送局を記憶させる(プリセット)

FM 放送局を、最大 30 局まで記憶させることができます。

### 自動で記憶させる(オートプリセット)



- 周波数順に最大 30 局まで自動で記憶されます。

### 手で記憶させる(マニュアルプリセット)

- 1 記憶させたい放送局を受信する
- 2 プリセット番号を表示する



- 3 記憶させたいプリセット番号を選ぶ

リモコン

本体



(くり返し押す)

(くり返し押す)

- 4 記憶させる

リモコン

本体



### 記憶した放送局を呼び出す

リモコン

本体



(くり返し押す)

(くり返し押す)

- FM ステレオ放送を受信すると、「Stereo」と表示されます。
- FM モノラル放送を受信すると、「Mono」と表示されます。



# マイク／ギターを接続する

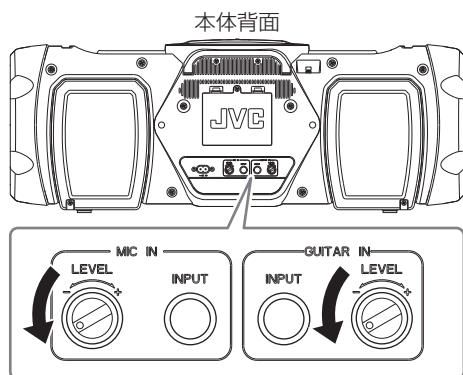
## マイク／ギターの音をミキシングする

マイクまたはギターを接続して、再生音とマイクまたはギターの音声をミキシングできます。

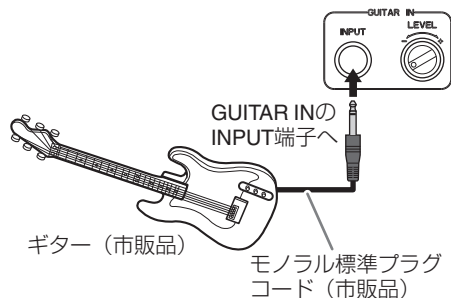
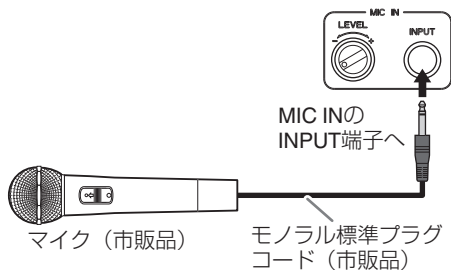
### ご注意

- GUITAR IN 端子には、ベースギターを接続しないでください。本機が破損するおそれがあります。
- 出力の大きなギターでは、音が歪むことがあります。その場合は、GUITAR IN 端子の LEVEL (-/+ ) 調節つまみを左側 (- 側) に回し、入力を小さくしてください。
- ミキシング後の音が歪むのを防ぐため、マイクまたはギターを本機に接続すると、再生中のソース (音源) の音量が小さくなりますが、故障ではありません。

- 1 LEVEL (-/+ ) 調節つまみを左側 (- 側) いっぱい回す



- 2 マイクの場合は MIC IN の INPUT 端子に、ギターの場合は GUITAR IN の INPUT 端子に接続する



- 3 ミキシングするソース (音源) を再生する
- 4 LEVEL (-/+ ) 調節つまみを回して、マイクまたはギターの音量を調節する

## マイクの音声にエコーをかける

ECHO



(くり返し押す)

押すたびにエコーのかかりかたが次のように切り換わります。

ECHO 1 (弱めのエコー) → ECHO 2 (強めのエコー) → ECHO OFF (オフ) → (最初に戻る)

### お知らせ

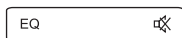
- お買い上げ時の設定は、「ECHO OFF」です。

# その他の機能

## サウンドモードを使う

曲の種類に合わせて、サウンドモードを選べます。

リモコン



(「EQ」側を押す)

本体



(くり返し押す)

一度押すと現在の設定を表示し、さらに押すと設定が切り換わります。

- FLAT : 音質をフラットにしたいとき  
ROCK : ロックを聴くとき  
JAZZ : ジャズを聴くとき  
POP : ポップミュージックを聴くとき  
CLASSIC : クラシックを聴くとき

### お知らせ

- ヘッドホンからの音声には効果がありません。

## 重低音を強める

本体



(くり返し押す)

押すたびに重低音の強さが次のように切り換わります。

BASS 1(やや強めの重低音) → BASS 2(強めの重低音) → BASS OFF(オフ) → (最初に戻る)

### お知らせ

- お買い上げ時の設定は、「BASS OFF」です。
- ヘッドホンからの音声には効果がありません。
- 「BASS 1」または「BASS 2」ときは、サウンドモードの変更ができません。

## スリープタイマーを設定する

設定した時間が経過すると、自動で電源が切れる機能です。



(くり返し押す)

押すたびに電源が切れるまでの時間(単位:分)が次のように切り換わります。

Sleep off → 15 minutes → 30 minutes → 45 minutes → 60 minutes → 90 minutes → (最初に戻る)

- スリープタイマーが設定されているときは、表示部の左上に「SL」と表示されます。
- スリープタイマーを解除するときには、「Sleep off」を選んでください。

## 残り時間を確認する



残り時間を数秒間表示します。

### お知らせ

- リモコンの REPEAT(MENU) ボタンを押し続けるか、本体の MENU ボタンを押して、「System」→「Sleep」メニューから、スリープタイマーを設定することもできます。

## タイマーを設定する

タイマーを使うと、お好みの音楽で目覚めることができます。

異なる設定のタイマーを2つまで設定できます。

### ご注意

- あらかじめ時計を合わせておいてください。(p. 12)
- あらかじめソース(音源)を準備し、動作することを確かめてください。
- 再生するソース(音源)が「FM」のときは、あらかじめ放送局をプリセットするか、放送局を選んでおいてください。(p. 24, 26)

### 1 タイマー設定表示にする

SLEEP



(押し続ける)

### 2 「Timer 1 Setup」(タイマー 1)または「Timer 2 Setup」(タイマー 2)を選ぶ

リモコン



(くり返し押し)

本体

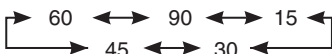


(くり返し押し)

### 3 手順 2 をくり返して、タイマー開始時刻の「時」を合わせる

### 4 手順 2 をくり返して、タイマー開始時刻の「分」を合わせる

### 5 手順 2 をくり返して、タイマーの持続時間(単位:分)を選ぶ



### 6 手順 2 をくり返して、タイマーのソース(音源)を「FM」、「CD」、「USB」から選ぶ

- 「FM」を選んだ場合は、さらに手順 2 をくり返して、放送局を選んでください。最後に聴いた放送局にする場合は、「Last listened」を選んでください。

### 7 手順 2 をくり返して、タイマーの頻度を「Daily」(毎日)または「Once」(1回)から選ぶ

- 「Once」を選んだ場合は、さらに手順 2 を3回くり返して、タイマーの作動日を「日」→「月」→「年」の順番に設定してください。

### 8 手順 2 をくり返して、タイマーのソース(音源)の音量を設定する

- 調節範囲: タイマーでは、4 から MAX までの 29 ステップの範囲で設定できます。
- 音量値は表示部にバーで表示されます。
- リモコンの ◀◀(◀◀) / ▶▶(▶▶) ボタン、VOL (-/+ ) ボタン、または本体の ◀◀ / ▶▶ ボタンを押し続けると、連続して変わります。

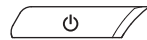
### 9 手順 2 をくり返して、「Timer On」を選ぶ

- 「Timer Saved」と表示され、タイマーの設定が保存されます。
- タイマーを設定すると、表示部の右上にベルのアイコンが表示されます。タイマー 1 の場合は「1」、タイマー 2 の場合は「2」がベルのアイコンの右側に表示されます。

### 10 本機の電源を切る(スタンバイ)にする

リモコン

本体



- タイマーは、本機がスタンバイのときのみ動作します。
- タイマー動作中は、ベルのアイコンが点滅します。

### お知らせ

- 設定を解除するには、手順 9 で「Timer Off」を選んでください。
- 手順 7 で「Daily」を選んだ場合は、設定が解除されるまで継続します。使用しないときは、設定を解除してください。
- 手順 7 で「Once」を選んだ場合は、一度動作すると設定が解除されます。
- タイマー作動中に設定を解除するときは、電源を切ってください。
- タイマー 1 とタイマー 2 の設定時刻が重なっている場合は、開始時刻の早い方が動作します。

## ライトエフェクトを使う

リモコン

LIGHT



(くり返し押す)

本体



(くり返し押す)

スピーカー部のライトを点灯/点滅させます。

押すたびにライトの点灯/点滅パターンが次のように切り換わります。

LIGHT 1(赤色に点灯) →

LIGHT 2(7色に時計回りで点灯) →

LIGHT 3(7色に上部から下部へと消灯後、点灯のくり返し) →

LIGHT 4(7色にゆっくりと変化) →

LIGHT OFF(オフ) → (最初に戻る)

## 出荷時の状態に戻す

本機をリセットすると、各種の設定内容は消滅し、お買い上げ時の状態となります。

### 1 設定メニューを表示する

リモコン

REPEAT



(押し続ける)

本体



### 2 「System」を選ぶ

リモコン



(くり返し押す)

本体



(くり返し押す)

### 3 手順 2 をくり返して、「Factory Reset」を選ぶ

### 4 手順 2 をくり返して、「Yes」を選ぶ

「Restarting...」と表示されます。

本機がリセットされ、お買い上げ時の状態となります。

# その他の情報

## オートパワーセーブ(節電機能)について

以下のいずれかの状態で約 15 分間何も操作しない場合、本機の電源が自動的に切れます。

ソース(音源)	本機の状態
BLUETOOTH	• BLUETOOTH 機器を接続していないとき • 音声入力がないとき
USB	• USB メモリーを接続していないとき • 停止状態のとき
CD	• CD がないとき • 停止状態のとき
AUX IN	• 音声が入力されていないとき

### お知らせ

- 途中でボタン操作をした場合は、その時点から 15 分後に電源が切れます。
- オートパワーセーブ機能はオフにできません。

## 使用できる BLUETOOTH 機器

- BLUETOOTH での接続には、BLUETOOTH Ver. 5.0+EDR に対応し、A2DP と AVRCP のプロファイルに対応している必要があります。
- すべての BLUETOOTH 機器再生を保証するものではありません。

## USB メモリーのご注意

- USB 端子には、USB メモリー以外の機器を接続しないでください。
- USB メモリーの容量は 16GB 以下を推奨します。
- 収録されているファイルが多いほど、本機の読み込み時間が長くなります。
- USB メモリーのセキュリティ機能は、接続する前に解除してください。
- 本機の USB 端子は、パソコンとは接続できません。
- USB メモリーによっては、誤動作する場合があります。このときは、本機の電源を一度切ってから入れ直してください。
- USB ハブは使用しないでください。
- すべての USB メモリーの動作を保証するものではありません。
- USB メモリーが複数のパーティションに分かれている場合は、先頭のパーティションのみ認識します。
- 本機では、ファイルやフォルダーを削除することはできません。
- USB メモリーの取扱説明書をご覧ください。

## 再生できる CD とファイル

- CD 規格(CD-DA)に準拠しない CD については、動作や音質を保証できません。CD を再生するときは、「CD ロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD 規格に準拠する CD であることをお確かめください。
- CD の特性・記録状態・傷・汚れ、またはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で再生できないことがあります。
- CD の使用上のご注意をよくお読みください。
- CD テキストの表示には対応しておりません。

CD	下記のマークのある CD を再生することができます。   
ファイル	• 音楽 CD フォーマットの CD-R/CD-RW • CD-R/CD-RW の MP3 ファイル

## CD-R / CD-RW のご注意

お客様が編集した CD-R/CD-RW は、ファイナライズ処理されている CD に限り本機でお楽しみいただけます。

- レーベル面に印刷可能な CD-R/CD-RW を使用すると、レーベル面が貼り付いてディスクの取出しができないことがあります。本機の故障の原因となるため、このようなディスクは使用しないでください。
- CD-R/CD-RW を作成するときは、フォーマットを「ISO 9660 Level1」にしてください。また、ペケットライト方式(UDF フォーマット)は使用しないでください。
- 音楽用の CD フォーマットまたは MP3 ファイル以外で記録したことのある CD-RW は、いったん全曲を消去してください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。
- MP3 ファイルの入った CD-R/CD-RW は、通常の音楽 CD よりも読み取りに時間がかかります。(フォルダーやファイルの構成により読み取り時間は異なります。)



## MP3 ファイルのご注意

- 再生できる MP3 ファイルは<.mp3>の拡張子がついているファイルです。
- 本機では、以下のような転送レートとサンプリング周波数で作成されたオーディオまたは MP3 ファイルを再生できます。

### サンプリング周波数

オーディオファイル	サンプリング周波数
MP3	32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz

### 転送レート

オーディオファイル	転送レート
MP3	32 kbps ~ 320 kbps

- DRM (著作権保護) ファイルはスキップします。
- VBR ファイルの早送り、早戻しには対応していません。また、正しく再生できない場合があります。
- 1 曲が 2GB 以上のファイルは再生できません。
- 録音状態や記録方法によっては再生できない MP3 ファイルもあります。その場合、再生できないファイルはスキップされます。

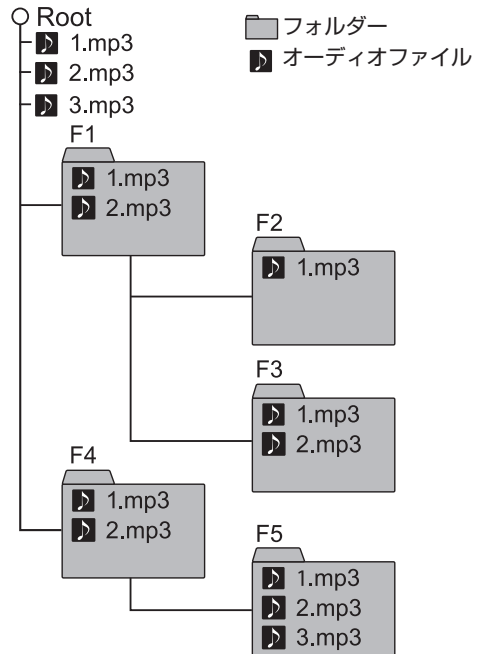
## ファイルの再生順について

オーディオファイルは、CD-R/CD-RW や USB メモリーなどの Root (ルート) にあるものから再生されます。

本機がフォルダーやオーディオファイルを再生する順番は以下のとおりです。

実際の再生順は、曲の記録された順番や使用するソフトウェアなどにより異なることがあります。

## フォルダー構成例



## ファイルの再生順

- 1 曲目 : 1.mp3
- 2 曲目 : 2.mp3
- 3 曲目 : 3.mp3
- 4 曲目 : F1\_1.mp3
- 5 曲目 : F1\_2.mp3
- 6 曲目 : F2\_1.mp3
- 7 曲目 : F3\_1.mp3
- 8 曲目 : F3\_2.mp3
- 9 曲目 : F4\_1.mp3
- 10 曲目 : F4\_2.mp3
- 11 曲目 : F5\_1.mp3
- 12 曲目 : F5\_2.mp3
- 13 曲目 : F5\_3.mp3

## お知らせ

- もし曲順が変わってしまう場合は、パソコンで USB メモリー内の音楽をデスクトップにフォルダーごとコピーし、曲名の先頭に「01...MP3」、「02...MP3」などの数字を付けてから、FAT32 形式でフォーマットした USB メモリーにフォルダーごと書き込んでください。

## 本機を処分する際のお願い

本機には、充電式リチウムイオン電池が搭載されています。環境保護と資源の有効活用のため、電池の回収にご協力ください。

本機を処分するときは、充電式電池を本機から取り外して、充電式電池のリサイクル協力店または自治体施設へお持ちください。充電式電池の取り外し方法については、右記を確認してください。

### ご注意

- 充電式電池を処分するとき以外は、絶対に本機を分解しないでください。
- 火災、破裂の原因となりますので、以下の点にご注意ください。
  - 充電式電池を分解しないでください。
  - 充電式電池を火の中に投入しないでください。
  - 充電式電池は定められた充電器以外で充電しないでください。
  - 充電式電池は-5℃以下の場所および35℃以上の場所で保管しないでください。
  - 充電式電池を焼却しないでください。
  - 充電式電池を破壊しないでください。
  - 充電式電池を投げたり、振り回したり、衝撃を与えないでください。
  - 充電式電池を取り出すときは、本機の電源を入れても動作しないかなど、内蔵電池が完全に消耗したことを確認してください。
  - 充電式電池を処分するときは、コネクター部分に絶縁テープを貼ってください。
- 落としたりぶつけたりなど、本体に強い衝撃を与えないでください。
- 充電式電池を交換する場合は、サービス窓口での有償による対応となります。お買い上げの販売店または、カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

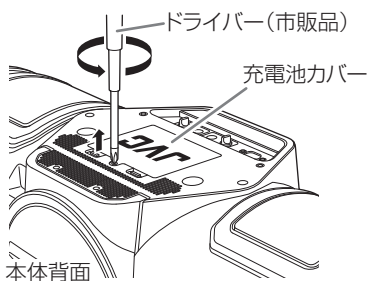


Li-ion 00

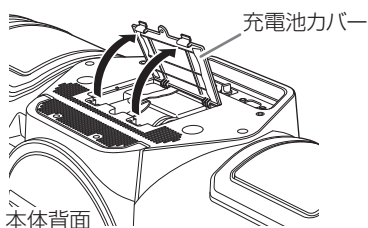
### 充電式電池のリサイクルについて

本機は、リサイクル可能な充電電池を使用しています。

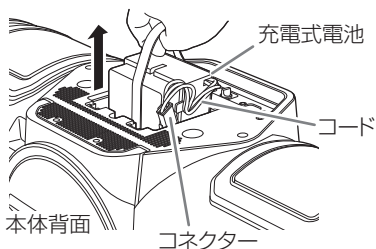
- 1 ドライバーで本体背面の充電カバーのねじをはずす



- 2 充電カバーを開ける

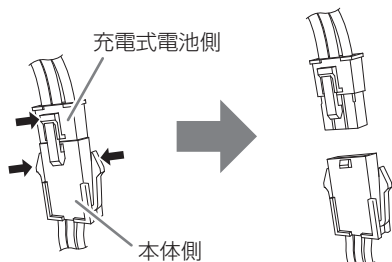


- 3 充電式電池のベルトを持って、本体から引き出す

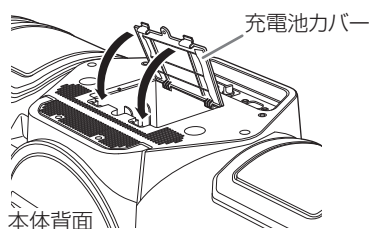


- 充電式電池のコードは、本体のコードとコネクターで接続されています。強く引っ張らないでください。

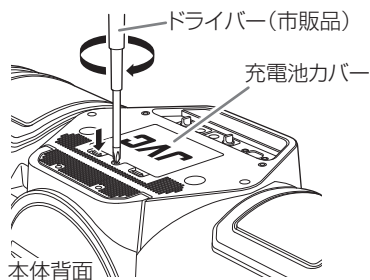
- 4 下図の黒矢印の部分を押して、コード先端にあるコネクターをはずし、本体から充電式電池を取りはずす



- 5 充電電池カバーを閉める



- 6 ドライバーで充電電池カバーのねじを締める



## ソフトウェアバージョンについて

リモコンの REPEAT (MENU) ボタンを押し続けるか、本体の MENU ボタンを押すと、「System」→「SW version」メニューで、本機のソフトウェアバージョンが表示されますが、修理などアフターサービスの際に使用する情報です。本機の操作では、使用しません。

## お手入れについて

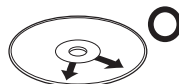
### CD の取り扱いとお手入れ

ケースから出すとき

ケースに入れるとき



- CD にテープやシールを貼ったり、字を書いたりしないでください。
- CD は曲げないでください
- ハートや花などの形をしたシェイプ CD (特殊形状の CD) は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。
- CD をお手入れするときは、ほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。



必ず内側から外側へ



連続したキスは音飛びの原因となります。

- シンナーやベンジンなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

## 商標

- AirPlay, iPad, iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch, and Retina are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. iPad Air, iPad mini, and Lightning are trademarks of Apple Inc. The trademark "iPhone" is used with a license from Aiphone K.K.
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc が所有する登録商標であり、株式会社 JVC ケンウッドは、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- Android は Google Inc. の商標です。
- "ウォークマン"は、ソニー株式会社の登録商標です。

# 故障かな？と思ったら

問題の多くは、当社ホームページ  
<https://www.jvc.com/jp/>  
から最新の製品 Q&A 情報をご覧  
いただくことで解決できます。



ホームページの内容は予告なく変更になることがあ  
ります。

**カスタマーサポートセンターにご相談になる前に、  
ホームページや以下の項目をチェックしてください。**

## 共通

### 電源が入らない。

- ➔ 電源コードのプラグがコンセントに正しく接続  
されているか確認してください。
- ➔ 電源コードをコンセントから抜いて、1 分程度経っ  
てから差し込みなおしてください。
- ➔ 充電式電池の残量がありません。電源コードを差  
し込んで、充電してください。

### 設定の途中で操作が取り消されてしまう。

- ➔ 操作には時間制限があるものがあります。もう一  
度操作し直してください。

### リモコンで操作できない。

- ➔ リモコンと本体のリモコン受光部との間が遮ら  
れていませんか。
- ➔ リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電  
池と交換してください。

### 音声が聴こえない。

- ➔ 音量が最小になっていませんか。
- ➔ 消音を解除してください。
- ➔ ヘッドホンをはずしてください。

### 充電式電池が充電できない

- ➔ 電源コードを奥までしっかり挿入してください。
- ➔ 充電温度範囲で充電してください。

## BLUETOOTH 機器

### BLUETOOTH 機器に接続できない。

- ➔ お使いの BLUETOOTH 機器側の BLUETOOTH  
機能がオンになっているか確認してください。
- ➔ お使いの BLUETOOTH 機器の説明書などで、  
「A2DP」に対応しているか確認してください。

### 音が出ない。

- ➔ お使いの BLUETOOTH 機器の音声出力設定を確  
認してください。改善されない場合は、  
BLUETOOTH 機器を再起動してください。

### 本機から BLUETOOTH 機器を操作できない。

- ➔ お使いの BLUETOOTH 機器の説明書などで、  
「AVRCP」に対応しているか確認してください。

### 音が途切れる。雑音が入る。

- ➔ BLUETOOTH の距離限界を超えているか、本機と  
の間に電波に干渉する機器などがある可能性が  
あります。本機に近づけても改善されない場合  
は、本機の設置場所を変更してみてください。

## USB メモリー / CD

### 再生できない。

- ➔ USB メモリーを正しく接続してください。
- ➔ CD はラベル面を上に入れてください。
- ➔ CD またはレンズが汚れていませんか。CD またはレンズを清掃してください。(p. 35)
- ➔ 「パケットライト方式(UDF フォーマット)」で録音された CD は再生できません。
- ➔ ソニー製ウォークマンは、USB 接続できません。BLUETOOTH 接続してください。(p. 16)

### MP3 のフォルダーやトラックが意図したように再生できない。

- ➔ 再生順は、フォルダーやトラックを録音した書き込みソフトによります。

### USB メモリーや CD からの音声が途切れる。

- ➔ 汚れや傷のある CD は、清掃するか交換してください。
- ➔ 正しく書き込まれた MP3 ファイルを再生してください。
- ➔ 本機の電源を切り、USB メモリーを接続し直してください。
- ➔ パソコンを使って、USB メモリーを FAT32 形式でフォーマットした後、MP3 ファイルを転送して再生できるかお試しください。

## ラジオ

### 雑音が多く放送が聴きづらい。

- ➔ FM アンテナを調整してください。(p. 24)
- ➔ 窓際などで受信できるかお試しください。

## 外部機器

### 外部機器の音声が聴こえない。

- ➔ 外部機器を正しく接続してください。(p. 27)
- ➔ ソース(音源)が「AUX IN」になっているか確認してください。
- ➔ 外部機器の音量を確認してください。


## タイマー

### タイマー設定ができない。

- ➔ 時計が設定されていません。先に時計設定をして下さい。(p. 12)



## 共通部

電源:	AC 100 V - 240 V、50 Hz / 60 Hz(付属の AC 電源コード使用時) DC 14.4 V  (内蔵充電式電池使用時)
電池持続時間:	約 14 時間 (BLUETOOTH 再生時、音量 50%程度) (使用条件によって異なります)
電池充電時間:	約 5 時間
消費電力:	60 W (定格消費電力) 1 W 以下 (電源待機時) 0.2 W 以下 (エコモード時)
最大外形寸法:	幅 696 mm × 高さ 261.5 mm × 奥行き 265 mm
質量:	8 kg

\*は JEITA (電子情報技術産業協会) の測定法に基づく数値です。  
本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

<メモ>



<メモ>

<メモ>

# 保証とアフターサービス

## 保証書

所定事項記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。保証期間はご購入の日より1年間です。

## 補修用性能部品の最低保有期間

製造打ち切り後6年です。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間中、およびその後の点検・サービス活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。

- 保証期間中、取扱説明書および本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無償修理または本体部の交換をさせていただきます。その際、当社の判断で再生部品を用いる場合があります。商品と本書をお買い上げの販売店にご持参ご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
- 次のような場合は保証期間内でも有料修理にさせていただきます。
  - 本書のご提示がない場合。
  - 本書に型名、製造番号、お買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名の記載がない場合。
  - ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
  - お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
  - 火災、地震、風水害、雷その他の天災地変、虫害、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定以外の使用電源(電圧・周波数)による故障および損傷。
  - 不具合の原因が本製品以外(外部要因)による場合。
  - 一般家庭用以外(例えば業務用などへの長時間使用および車輦、船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷。
  - 消耗品(電池など)の消耗。
  - (持込修理対象商品の場合)  
持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料はお客様負担とさせていただきます。また、出張修理を行なった場合には、出張料はお客様負担とさせていただきます。
  - (出張修理対象商品の場合)  
離島および離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行なった場合は、出張に要する実費を申し受けます。
  - 不注意、許可なしに行なった修正/改造、あるいは事前承諾を得ずに付加した部品またはインストールしたソフトウェア、ファームウェアが原因となって損傷が発生した場合。
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって株式会社JVCケンウッドおよびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

- 修理などのアフターサービスについては、下記ホームページをご覧ください。  
<https://www.jvc.com/jp/support/hrepair/>
- 商品や修理(アフターサービスなど)に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。



## 固定電話からはフリーダイヤル:0120-2727-87

携帯電話・PHSからのご利用はナビダイヤル:0570-010-114

一部IP電話からのご利用は:045-450-8950

受付時間:月曜～金曜 9:30～18:00 / 土曜 9:30～12:00、13:00～17:30  
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

# 保証書

持込修理

品名	オーディオ商品	製造番号
型名	RV-NB250BT	
お客様	お名前	ふりがな
	ご住所	〒0000000 ( )
お買い上げ年月日	年 月 日	保証期間 お買い上げ日から 本体 1年間
お買い上げ店	住所・店名・電話	

## お客様へのお願い

- 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記載されているかお確かめください。万一記入がない場合は、直ちにお買い上げ販売店にお申し出ください。購入日の確認できる書類（シールやレシートなど）の添付でもかまいませんので、大切に保管してください。
- 製造番号の記載がない場合は、お手数ですが、お買い上げ商品本体に記載されている8桁の製造番号をお確かめのうえ、記入をお願い致します。
- ご贈答品などで、本書記載のお買い上げ販売店に修理がご依頼になれない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

ホームページ <https://www.jvc.com/jp/>

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12